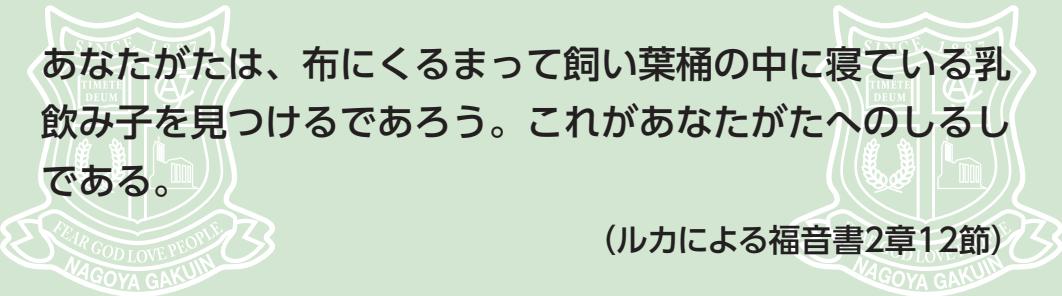


Nagoya High School

2-1-58 Sunada-bashi, Higashi-ku, Nagoya, 461-8676 JAPAN
TEL +81-52-721-5271 FAX +81-52-721-5277

クリスマスマッセージ

学院長 横山 良樹



イエスさまはユダの地ベツレヘムにお生まれになりましたが、この寒村が聖書で最初にクローズアップされるのはダビデの出身地としてです。ダビデはイスラエルを統一し、エルサレムを都と定めるなど偉大な足跡を残し、メシア（救世主）はダビデのような王と待望されるようになります。新約聖書の最初に置かれている系図にも「アブラハムの子、ダビデの子、イエス・キリストの系図」とあるほどです。しかし、ダビデが王に選ばれた経緯は異例づくめでした。まず神さまは当時在位していたサウルの子どもを次の王に選びませんでした。そしてイスラエルの士師であったサムエルに、ベツレヘムのエッサイのところに行くように命じます。わたしはその息子たちの中に、王となるべき者を見いだしたというのです。やがてサムエルの前にエッサイの息子たちが現れます。長男エリアブを見て、その姿かたちの立派さから、サムエルは彼こそ王たるにふさわしい人物だと思うのですが、神は、わたしは人間が見るようには見ない。人は目に映ることを見るが、主は心によって見る、とエリアブを退けます。こうして次男アビナダブ、三男シャンマが連れて来られますが、いずれも拒絶。続いて名前の記されない4人の息子たちが登場しますが彼らも神に選ばれません。これで終わりかと思われたのですが、もうあなたに息子はいないのかとサムエルが問うと、末の息子が残っています、いま羊の番をしています、とエッサイは答え、こうして連れて来られたダビデを、これがその人だ、と主は言われるのです。ダビデは末っ子で、その場にいなくていいと判断された数に足らない者でした。しかし、神は無きに等しい者を選ばれて新しい出来事を起こされたのです。後の者が先になったのです。

イエス・キリストが宿屋に居場所がなく、飼い葉桶という、およそ人間の宿る場ではないところに布にくるまって寝かされた出来事は、同じようにまったく思いがけないところから成し遂げられる救いを指し示すじでした。羊飼いは人知を超えたこの出来事の目撃者となり、驚き、また感謝して、神を賛美したのです。

クリスマスはもっとも偉大な方が、もっとも小さく、低く、貧しくなられ、この世に宿られた驚きを見つめる時です。神さまがわたしと出会うために払われた愛の冒険を思う時です。そこに敬神・敬愛の根柢を見いだすならば、あなたの生き方は変わります。皆さまの上に、救い主イエスとの出会いが生まれますように祈ります。